

1. 前回会議以降のまちづくりの動き

(1) 「松山駅周辺まちづくりプラン」について

資料2-1

- 「松山市中心市街地の将来像」及び「JR松山駅周辺まちづくりの将来像」を踏まえ、実現性の高い松山駅周辺整備について検討するため、令和7年度にサウンディング型市場調査を実施した。
- 民間事業者の意見や提案を反映し、官民連携によるまちづくりに向けた、具体的な整備イメージや今後の進め方を示すものとして、令和8年3月に発表、また、7月に修正版を発表した。

(2) 車両基地跡地の活用について

資料2-2

- 多目的アリーナの整備を検討していたが、令和8年4月に民間事業者が別の場所に民設民営で整備する構想を示した。市としてその意向を尊重し、関係者に改めて意向確認することとした。
- 関係者の意見を踏まえ、令和8年6月、車両基地跡地には、松山市民会館の代わりになる、新しい文化施設を整備する方針を発表した。
- 現在、「文化施設の在り方検討会」で意見を頂きながら、必要な機能や規模について検討を進めている。

(3) JR松山駅周辺にぎわい施設整備事業 事業協力者について

資料2-3

- 「松山駅周辺まちづくりプラン」で示す商業や飲食、アミューズメント施設などの「にぎわい施設」を具体化するため、事業内容や事業条件、バスタプロジェクトなど関連事業との連携と調整等について、松山市と継続的に対話し、ともに検討する事業協力者を公募した。
- 三井不動産、四国旅客鉄道、伊織の3者を選定し、対話を重ねている。

(4) JR松山駅にぎわい・回遊性創出実証実験について

資料2-4

- 令和8年9月から令和11年3月までの約3年にわたり、JR松山駅周辺で定期的に、月1回程度、イベントを開催して新しいにぎわいを生み出すとともに、10月3日にオープンした松山市駅前広場と連携したイベントも実施し、2つの拠点の間で回遊性を高める実証実験を行う。

1. 前回会議以降のまちづくりの動き

